

報道関係各位

2020年1月27日
株式会社ツクイ

第17回 横浜F・マリノスカップ 電動車椅子サッカー大会に協賛しました — パワーチェアフットボール in ヨコハマ —

株式会社ツクイ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 高橋靖宏、以下「ツクイ」）は、オフィシャルスポンサー契約を締結しているJリーグ所属のプロサッカークラブ、横浜F・マリノス（所在：神奈川県横浜市、代表取締役社長 黒澤良二）が開催した電動車椅子サッカー大会に協賛しましたので、以下の通りご報告いたします。



開催概要

主催：横浜マリノス株式会社

日時：2020年1月18日（土）10：00～17：50

2020年1月19日（日）10：00～16：30

場所：横浜市立子安小学校体育館

参加チーム：9チーム（最大時速6km/h 3チーム、最大時速10km/h 6チーム）

優勝：6km/h部門 DKFBC ディスカバリー

10km/h部門 Yokohama Crackers



開会式



体験コーナー

■ 電動車椅子サッカーのご紹介

電動車椅子サッカーは、スパイクの代わりに「フットガード」と呼ばれるガードを足元に取付けボールを蹴ります。操作はコントローラーについている「ジョイスティック」を身体の一部（指、足、顎など）で操り、直径 32.5cm の大きなボールを使いサッカーを行います。国際的呼称は「Powerchair Football（パワーチェアーフットボール）」であり、ワールドカップも開催される世界で親しまれているスポーツです。

国内大会では、最大時速 6km/h と最大時速 10km/h の 2 つの設定があり、最大時速 6km/h では、蹴ったボールに追いつかない、先手を読み合う「緻密な戦術」のサッカーが見所です。最大時速 10km/h は、蹴ったボールに追いつく、運動量が多くフットサルに近い「ダイナミック」なサッカーが見所です。

以上

【参考：“認知症”、“障がい者スポーツ”をテーマに横浜 F・マリノスとパートナーシップ活動】

■ 認知症予防での連携

「地域に根ざしたスポーツ振興による豊かな社会づくり」を目指す「ふれあいサッカープロジェクト」のパートナーとして、F・マリノスの専属コーチが展開する「ふれあい活動」を支援するとともに「認知症予防プログラム」を共同実施。

□ 認知症サポーターへの理解促進

オレンジリングの理解促進活動の一環として「親子 3 世代サッカー教室」を開催。

■ 障がい者スポーツの支援

F・マリノスが取り組む Inclusive Football（障がいの有無に関わらずサッカーを楽しめる世界）の重要な 2 つの取り組み、知的障がい者サッカーチーム「横浜 F・マリノス フトゥーロ」、および電動車椅子サッカー大会を支援。

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社ツクイ IR・広報部 渡邊・杉浦・奥山

Mail : press@apps.tsukui.net Tel : 045-842-4193